

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課	■担当係	観光物産係
■評価事業名称	産業観光振興事業		
■事業開始年度	平成20年度		
■評価事業コード	060200 - 078	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興	
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	工業集積の特性を活かして、最先端技術を備えた工場の見学や体験などの産業観光を推進し、工業見学者に対して当市の観光物産をPRする。工場見学者受け入れ工場に観光パネル・パンフレットを設置して観光、物産をPRする。ガイドブックの作成。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	産業観光振興事業	企業、市民、観光客	観光パンフレットの作成、研修等の開催	観光パンフレットの作成2,500部、パンフレット掲載事業所19社

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	387	360	325	395	
人件費	1,101	458	403	894	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,488	818	728	1,289	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	観光パネル設置企業数。	0社		0社	0社	新規設置数
02	観光パネル設置企業述べ数	5社		5社	5社	ヤクルト工場、TDK、シチスン、関東自動車、東北イノアック
03	見学受け入れ企業の入込数	28,000人		28,600人	27,000人	

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

04	見学者1名当りコスト				
05	設置会社数当りコスト				

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

入込数を安定的に確保している。学校行事として、市外からの見学も多く、工場見学ができる街としての認識は定着している。

問題点・課題等

観光資源として、魅力を更に宣伝するためには、産業を体験できる内容が不足している。ニーズの分析や参加事業所との連携が不足している。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策

観光客が見て、触って、感じる事が出来るモデルコースの設定や、新規参加事業所を開拓する。工場見学実施事業所との連携を強化する。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了